

平成30年度第11回政策会議概要

- 1 開催日時：平成30年12月21日（金）9:05～9:50
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

議題1 不適切な事務処理及び不祥事の再発防止に向けて

●日沖副部長【総務部】（資料1に基づき説明）

コンプライアンス推進会議における議論をふまえ、原因分析及び再発防止策についての検討状況を取りまとめた。

本日付で外部有識者による「コンプライアンス懇話会」を設置し、三重県のコンプライアンスの取組等に関する意見・提案をいただき、その結果をふまえ、今年度内に最終的な再発防止策を取りまとめ、来年4月から適宜、実施していく。

●嶋田総務部長

今回報告した再発防止策を具体的に機能させるため、行政内部だけでは抜け落ちている視点などを外部の委員からご指摘いただくなど、さらなる検討を進める。

☆岡村農林水産部長

公務外での公務員倫理の確保や、管理職としての意識の徹底に向けた取組が重要である。また、目立たない仕事も評価する仕組みが必要である。

☆田中子ども・福祉部長

チェック手法の共有について、誰がどのタイミングでどのようにチェックを行うのが効果的なのか、具体的にしっかりと決めたいうえでチェックを行う必要がある。

☆福井医療保健部長

自身の不祥事や不適切な事務処理が県民に大きな迷惑をかけ、信用失墜につながることを、改めて全ての職員が認識するよう、部内でもしっかり取り組む。

☆村上雇用経済部長

班長が班全体の進捗管理に専念できる組織の検討をお願いしたい。報告書の中には効果に疑問を感じる取組もあるので、外部の声を聞いて精査してほしい。

☆廣田教育長

飲酒運転等は悪いとわかっているはずなのに実際には起きている。なぜ不祥事が発生するかの原因分析や、民間企業等の対応策を参考にして事務局内で検討を行っている。

☆山神企業庁長

業務を進める際に班長や班長代理の役割は大きく、任用や評価の面でも、チェック機能を果たすことの期待や処遇を反映したものとしてほしい。

☆難波警察本部長

当事者を指導して終わりではなく、なぜ発生したのか、周囲はなぜ気づかなかったのかという点にスポットライトを当てて改善に取り組んでいる。

☆渡辺県土整備部長

過去に当部で発生した事案から、他人事ではなく自分事ととらえることが何より大切であり、当事者意識を持つことを訴え続けている。

☆福永防災対策部長

全庁で一元的にリスクマネジメントを行うことの重要性について、再発防止策に盛り込む必要があるのではないか。

☆荒木出納局長

来年度も引き続き、会計事務に関するコンプライアンス意識向上の研修に取り組んでいく。

☆西城戦略企画部長

コンプライアンスの視点だけでなく、県職員をどのように育てるのかという大きな視点が大切ではないか。

☆服部危機管理統括監

班長の役割についてなど何年も言われている課題も多いが、具体的に各部局・各職場での動きが見えてこず、職員が自分のことと考えているとは感じられない。今一度、自分たちでできることから取り組むことが大切である。

☆稲垣副知事

もう後がないという危機感を職員一人一人が持つよう、各部局長はリーダーシップを発揮してほしい。

☆渡邊副知事

4月からの取組を待たず、自分たちに何ができるか自ら考え、気づき、今日から取組をスタートさせてほしい。

☆鈴木知事

取りまとめた内容に、県の取組の先には県民の皆さんがいるという記述がないので、しっかりと県民の皆さんのことを意識し、不祥事を二度と起こさないという思いが伝わるようにしてほしい。

不祥事等が発生すると、株価の暴落や不買運動などにすぐ発展する民間企業と異なり、そうしたことのない県は、危機意識を身に染みて感じにくい組織である。だからこそ鋭敏になってしっかり取り組まなければならない。

議題2 ワーク・ライフ・マネジメントの上半期の検証について

●畑中課長【行財政改革推進課】（資料2に基づき説明）

12月17日に開催した中央労使協働委員会の内容を情報共有する。

ほぼ目標どおりに進んでいるが、二極化の傾向は解消されていないため、課題を抱える職場に対してこれまでの取組で得たノウハウを水平展開するとともに、すべての職場で職場アクションシートの活用等により対話を活性化していくことが求められる。

各部局には引き続きご協力いただきたい。

（質疑等なし）

議題3 「県民の声を受けて」公表分の概要について

●西城戦略企画部長（資料3に基づき説明）

職員に関するものとして、対応についての意見、苦情が2件、他に作業着を着たまま通勤していることや、勤務時間中の喫煙についての意見をいただいている。

県民の声をいただいて改善できた事案は4件あった。

また、詳細資料の2頁目にある7番から11番であるが、コンプライアンスに関わることで、職員の処分等についての意見を5件いただいている。

（質疑等なし）